

氣比宮社記 卷六 格式並諸書北陸道部 標出下

延喜式曰北陸道神三百五十二座

大十四座就中月次一座

小三百卅八座

若狹國四十二座大三座小卅九座

遠敷郡十六座大二座小十四座
 多太神社 若狹比古神社二座名大神 小浴神
 石按比古神社 石按比賣神社 椎村神
 波古神社 久須夜神社 彌和神社 丹
 生神社 阿奈志神社 曾尾神社 許波岐神
 社 荊田比古神社 荊田比賣神社

大飯郡七座並小

青海神社 伊射奈伎神社 香山神社 靜志

神社 日置神社 大飯神社 佐伎治神社

三方郡十九座大一座小十八座
 須可麻神社 濱浦 御方神社 方村 三 伊牟

移神社 多田比神社 結村 有田 丹生神社 織

田神社 田村 有織 和爾部神社 佐伎神社 宇

波西神社 名神 大月次新嘗今 高那彌神社 有

竹波 仁布神社 生浦 丹 須部神社 木野神

社 今有木 彌美神社 有耳 於世神社 常神

社 今有常 能登神社 野有能登 闍見神社 有闍

山都田神社

越前國一百廿六座大八座 小百十八座

敦賀郡四十三座大七座 小廿六座

氣比神社七座並名神大 坐于氣比 宮中瑞籬内五社是也

留神社南條郡有歸村木目山坐于氣比 坐于野

村 丹生神社今坐丹生郡有丹生村 田結

神社結坐田 久豆彌神社見坐村 野坂神社坐野

坂上村 志比前神社坐道 角鹿神社坐于氣

大椋神社藏坐大 和志前神社坐手 市振神

社今在市橋村社或是歟 金前神社坐泉村金

五幡神社坐五 阿蘇村利坐利 神坐利 神坐利 神坐利

白城神社坐白 木浦坐木 日坐日 橫椋神社坐余

多伎夜神社坐刀 爾村持山之中有謂伊多坐伊

山神社今有 丹生坐丹 喜谷坐喜 或上世在此山中歟坐伊

山神社今有 丹生坐丹 喜谷坐喜 或上世在此山中歟坐伊

峰神社在子有乳 鹿蒜神社和名抄曰鹿蒜加

北道路謂加比流之高岡神社今有謂高野

奈麻須坂或舊迹乎鹿蒜田口神社或說云

太神下前神社 坐于天筒篋乎 鹿蒜田口神社或說云

歟 三前神社坐于 磐石坐白 城坐海 崎坐無 神坐祠

織田神社坐南 石田神社坐于 丹生郡有上

天八百萬比咩神社坐香 浦常宮天利 劍神社

比社于氣 天比女若御子神社坐于 天伊佐奈

彦神社坐同 天國津彦神社坐于 宮社坐于 常 天國津比

咩神社坐同 天鈴神社坐上 玉佐々良彦神社坐同

信露貴彦神社坐一 說明神坐是 歟坐未 考坐是 非

丹生郡十四座大一十三座

兄子神社坐雨 夜神社坐大 蟲神社坐俗 相傳坐大 謂坐大

出見尊坐火 長岡神社坐麻 氣神社坐相 傳坐大 謂坐大

斗布神社坐小 蟲神社坐雷 社坐下 大蟲村坐大

今立郡十四座並小

帆山神社今有帆 國中神社二座 石部神社有磯

村部岡太神社 須波阿須疑神社三座 丹津神

社 刀那神社 小山田神社有北山村 鶴

甘神社 加多志波神社 敷山神社

足羽郡十三座並小

杉杜神社 土輪神社 直野神社 麻氣神社

登知爲神社 推前神社 與須奈神社 山方

神社 御門神社 分神社 神傍神社 於神

社 足羽神社

大野郡九座並小

磐座神社 篠座神社 柰神社 大槻磐座神

社 有大大月村西大 坂門一事神社 風速神社

國生大野神社 高於磐座神社 荒嶋神社

坂井郡卅三座並小

布久漏神社 坂名井神社 御前神社 都那

高志神社 多禰神社 久米多神社 意加美

神社 阿治波世神社 國神神社 井口神社

楊瀬神社 已乃須美神社 片岸神社 大溝

神社 比古奈神社 幣多神社 紀部神社

枚岡神社 毛谷神社 柴神社 英多神社

鶴屎神社 伊伎神社 保會呂伎神社 横山

神社 三國神社 石田神社 味坂神社 高

向神社 笠間神社 家津神社 大湊神社

絲前神社

加賀國四十二座並小

江沼郡十一座並小

篠原神社 刀何理神社 御木神社 宮村岨

部神社 服部神社 菅生石部神社 忌浪神
社 日置神社 出水神社 氣多御子神社
潮津神社

能美郡八座小並

狹野神社 多太神社 石部神社 淳上神社
幡生神社 兎橋神社 多伎奈彌神社 熊田
神社

石川郡十座小並

白山比咩神社 本村井神社 額東神社 額
西神社 御馬神社 佐奇神社 檜本神社
笠間神社 味知神社 神田神社

加賀郡十三座小並

小濱神社 野間神社 三輪神社 賀茂神社
神田神社 下野間神社 郡家神社 須岐神

社 野蚊神社 波自加彌神社 大野湊神社
野蚊神社 笠野神社

能登國四十三座大一座 小四十二座

羽咋郡十四座大一座 小十三座

相見神社 志乎神社 氣多神社 神代神社
羽咋神社 瀬戸比古神社 手速比咩神社
椎葉圓比咩神社 奈豆美比咩神社 諸岡比
古神社 百沼比古神社 久麻加夫都阿良加
志比古神社 藤津比古神社 大穴持像石神
社

能登郡十七座小並

能登比咩神社 藤原比古神社 菅忍比咩神
社 加夫刀比古神社 天日陰比咩神社 鳥
屋比古神社 荒石比古神社 久兵比古神社

能登生國玉比古神社 白比古神社 伊須流
 支比古神社 餘喜比古神社 阿良加志比古
 神社 久志伊奈太伎比咩神社 伊夜比咩神
 社 御門主比古神社 宿那彦神像石神社

鳳至郡九座小並
 鳳至比古神社 石瀨比古神社 神杉伊豆牟
 比咩神社 石倉比古神社 美麻奈比古神社
 神目伊豆伎比古神社 美麻奈比咩神社
 奥津比咩神社 邊津比咩神社

珠洲郡三座小並
 須々神社 古麻志比古神社 加志波良比古
 神社

越中國卅四座大一座 小卅三座

礪波郡七座小並
 高瀬神社 長岡神社 林神社 荊波神社
 比賣神社 雄神社 淺井神社

射水郡十三座大十二座 小一
 射水神社 道神社 物部神社 加久彌神社
 二 久目神社 布勢神社 速川神社 櫛神
 社 磯部神社 箭代神社 草岡神社 氣多
 神社

婦負郡七座小並
 姊倉比賣神社 速星神社 白鳥神社 多久
 比禮志神社 熊野神社 杉原神社 鷯坂神
 社 建石勝神社

新川郡七座小並
 八心大市比古神社 神虔神社 布勢神社

櫻原神社 日置神社 雄山神社

越後國五十六座 大一座 小五十五座

頸城郡十三座 小並

奴奈川神社 大神社 阿比多神社 居多神

社 佐多神社 物部神社 水嶋磯部神社

菅原神社 五十君神社 江野神社 青海神

社 圓田神社 斐太神社

古志郡六座 小並

三宅神社二座 桐原石部神社 都野神社

小丹生神社 宇奈具志神社

三島郡六座 小並

御島石部神社 物部神社 鷺川神社 多岐

神社 三島神社 石井神社

魚沼郡五座 小並

魚沼神社 大前神社 坂本神社 伊米神社

川合神社

蒲原郡十三座 大一座 小十二座

青海神社二座 宇都良波志神社 伊久禮神

社 槻田神社 小布勢神社 伊加良志神社

伊夜比古神社 大名神 長瀬神社 中山神社 且

飯野神社 船江神社 土生田神社

沼垂郡五座 小並

大形神社 市川神社 石井神社 美久理神

社 川合神社

磐船郡八座 小並

石船神社 蒲原神社 西奈彌神社 荒川神

社 多伎神社 漆山神社 桃川神社 湊神

佐渡國九座

羽茂郡二座並小

度津神社 大目神社

雜太郡五座並小

引田部神社 物部神社 御食神社 飯持神

社 越敷神社

賀茂郡二座

大幡神社 阿都久志比古神社

但馬國城崎郡廿一座大廿一座

氣比神社

祈年神祇官祭神奠幣案上三百四座北陸道

若狹國一座社上瀨也

國司祭祈年神大一百八十八座北陸道十三座座別絲

三兩綿三兩小二千二百七座北陸道三百十八座座別

絲二兩綿二兩右國司長官以下准例散齋三日致

齋一日共會祭之祭日並班幣儀其幣皆用正稅

第二鎮魂祭神八座 神魂タマシヒ 高御魂 生魂イハムスミ 足魂タラシ

辭代主ハコトノカミ 大直神座

太刀一口弓一張箭二隻鈴二十口佐奈伎二十口

絶一疋木綿五斤麻十斤筥一合鹿筥一合明櫃一

合供御飯コトノケ一合御食料稻二束案一脚宇氣槽一

隻白一口杵二枝櫛四把薦一枚韓竈一具杵四柄

瓮二口塙四口裏葉薦一枚

第三名神祭二百八十五座 若狹比古神社二座

若狹氣比神社七座 大蟲神社一座前國越氣多

神社一座國能登伊夜比古神社一座國越後座別絕五

尺綿一屯絲一絢五色薄絕各一尺木綿二兩麻五兩裓料薦廿枚若有大禱者加絕五丈五尺以布一端代絲一絢

凡諸神宮司禰宜季祿者伊勢大神宮禰宜准從七位官度會禰宜准從八位官並以神郡下總國香取神宮司常陸國鹿嶋神宮司越前國氣比神宮司並准從八位官官並以封戶物充之能登國氣多神宮司准從八位官官並以封戶物充之能登國氣多神宮司准從八位官官並以封戶物充之准從八位官給以神封少初位官給以神封

第四凡元日諸宮禰宜內人等各奉拜神宮即供進白散御酒訖皆會集御厨太神宮司率諸宮禰宜內人及神司等遙拜諸宮訖即朝拜然後賜宴云於當社向南方拜禮皇御孫尊事古傳也以此式文慎可參考於是奉稱皇御孫尊者奉指當今

第十一太政官若狹越前等新任國司准位給食並芻

第十五內藏寮諸國年料曝黑葛越前國三十斤

季料白綿越前國
中國五百屯
黑米越前國
五十石
漆五斗越前國
所進

第十八式部省凡諸國雜色越前國廿人

凡伊勢大神宮同度會神宮禰宜賀茂二社禰宜祝住吉神主宇佐宮司祝氣比神宮司筑摩長等以雜色人補之並把笏

凡諸司諸國進解由者云其伊勢大神宮豐前宇佐宮越前氣比神宮司諸神主亦責解由凡氣比神宮司考隸神祇官

凡諸國史生者大國五人上國四人中國三人下國二人但若狹佐渡等國准下國云同解由式其伊勢大神宮豐前宇佐宮越前氣比神宮司諸神主亦責解由凡氣比神宮司考隸神祇官

第廿大學寮凡諸博士學生等計宿給燈湯料錢用越後國墾田五十町地子物充之越中國一萬束預

國司出舉以其息利春米並交易輕重每年附貢調使送納充於寮家雜用云凡越中礪波郡墾田地壹拾捌町肆段貳佰步就中熟田十三町二段四步未開地五町二段百六十步右田准鄉價賃租以充學生食

第廿二民部省北陸道若狹國中管遠數大右為近

國越前國大管敦賀今立足羽加賀國上能管江沼

賀石能登國中管羽咋能登越中國上管礪波射水

右為中國越後國上管頸城古志三嶋魚佐渡國

中管羽茂雜右為遠國佐渡國為邊要凡諸國貢

後佐渡隱岐三國並限二明年七月凡未進調庸物

越後佐渡等國十二月廿日以前進訖凡佐渡國

大帳聽便附去年貢調使凡諸國凡封戶以正丁

健兒皆免徭役唯佐渡等免徭凡封戶以正丁

四人中男一人為一戶凡諸家封戶各為三分云

越中等不得充封凡點仕丁女丁者佐渡不在點丁仕

丁女限凡佐渡國雜大團給軍穀職田二町主帳一町

第廿三民部省年料春米若狹國百石大炊二越前國內藏

五十四石大炊六百五加賀國大炊四百五十年

料租春米若狹國八百越前國百石三加賀國石一千

各以正稅春運白米送大炊寮黑米送省及內藏

寮其運送備夫並給路糧云凡春米運京者若

狹越前加賀丹後四月卅日以前並送納訖若有

未進者准數奪專當郡司職田直若不足者亦沒

國司公解云

年料別納租穀能登國四千越後國七千

別貢雜物若狹國零羊角十斤越前國筆五十管

斤零羊角十斤越中國二具越後國零羊角

諸國貢蘇番次若狹國八壺五並小一外越前國十

右六口各大一外右為第三番卯酉能登國九壺口

九口各小一外越中國十壺六口各大一外越後國

口各小一外越中國十壺六口各大一外越後國

十一壺七口各小一外

右為第四番辰戌年
交易雜物若狹國一鳥賊三斤小合暗越前國二
百六十履料牛皮六張漆一石五加賀國絹十二

西履料牛皮二張漆一石能登國絹十二疋鹿皮
 五斗荏油二石樽二合
 四張海鼠腸一越中國履料牛皮四張曝黑葛二
 石欄子四合漆一石三斗越後國商布一千段漆
 十斤編筥三百十九合鐵越後國商布一千段漆
 廿八合漆一石三斗越後國商布一千段漆
 履料牛皮八枚

第二十四主計寮凡貢夏調絲者越前一百約卅日
 以前若狹越前加賀能登越後右中條同北陸道

若狹國行程上三調絹薄鯨烏賊熬海鼠雜腊鯨廿
 納訖若狹越前加賀能登越後五國輪絹

錯貽貝保夜交鯨甲羸凝茶鹽庸輸米中男作物蜀
 椒子海藻鯛楚割雜鯨雜腊

越前國行程上七海路六日調兩面十匹九點羅二
 匹一窠綾三疋二窠綾五匹白絹十匹帛一百九十

匹緋帛二十匹椽帛二十五匹綠帛黃帛各二十匹
 絲一百約夏ノ自餘輸絹庸韓櫃二十一合鑲五合

白木十自餘輸綿米
 中男作物紙熟麻々紅荳茜黃藥皮黑葛漆胡麻油

荏油吳桃子並油薑海藻雜魚腊

加賀國行程上十二海路八日調小鸚鵡綾二匹
 橡帛二匹三丈蓄

蓋綾四匹緋帛十四黃帛二十四帛八十四白絹
 十四自餘輸絹○庸白木韓櫃八合自餘輸綿米

中男作物紙茜紅荳熟麻吳桃子荏油海藻雜魚腊
 能登國行程上十八海路二十七日調一窠綾二匹

絹十四熬海鼠三百四十五斤海鼠腸六十二斤
 八兩自餘輸絹庸白木韓櫃十七合自餘輸綿

中男作物席韓薦菅薦漆胡麻油雜魚腊折薦
 越中國行程上十七海路二十七日調白疊綿二百

帖自餘輸白細屯綿商布二段庸韓櫃四十六合
 塗漆着鑲五合自餘輸綿韓櫃便盛疊綿及白綿

白木四十一合自餘輸綿其櫃底各敷布一段折
 庸綿充布償一段別二屯

中男作物紙紅荳茜漆胡麻油鮭楚割鮭鮭水頭
 鮭背腸鮭子雜腊
 越後國行程上三十四海路三十六日調白絹十

合自餘輸狹布鮭
 中男作物黃藥三百斤布紙漆鮭內子並水頭背

腸

佐渡國 行程上三十四日 海路四十九日 調庸並輸布

中男作物布ズヒ

第廿六主稅寮諸國出舉正稅公廩雜稻

若狹國正稅公廩各九萬束國分寺料一萬束法華寺料一萬束文殊會料一千束修理池溝料一萬束救急料三萬束

越前國正稅公廩各四十萬束國分寺料三萬束東京法蒼寺料二萬束文殊會料二千束藥分料六千束修理池溝料四萬束救急料十二萬束浮囚料一萬束加賀國正稅公廩各三十萬束東京法蒼寺料一萬五千束國分寺料二萬束文殊會料二千束藥分料四千束修理池溝料一萬束救急料三萬束浮囚料五千束

能登國正稅公廩各十五萬束國分寺料五千束東京法蒼寺料一萬束文殊會料一千束修理池溝料一

萬束救急料六萬束

越中國正稅公廩各卅萬束大學寮一萬束國分寺料三萬束東京法蒼寺料二萬五千束文殊會料二千束修理池溝料三萬束救急料十三萬束浮囚料一萬三千四百卅三束

越後國正稅公廩各三十三萬束國分寺料二萬束京法華寺料一萬八千四百五十五束西隆寺料一萬束神宮寺觀音院料四千束文殊會料二千束修理池溝料三萬束救急料八萬束浮囚料九千束佐渡國正稅三萬八千束公廩八萬束國分寺料一萬束同寺新造藥師燈分料五百束文殊會料一千束修理池溝料一萬束救急料三萬束浮囚料二千束

祿物ロクモノ價法諸國絹一匹直稻卅束絲一絢六束綿一屯三束調布一端十五束庸布一段九束歛一口三束鐵一延五束若狹越前加賀能登國四箇鐵六束若

狹國綵八束越中國絹七十束鐵一束五把鐵七束
 五把越後佐渡兩國絹七十束綿八束鐵二束鐵六束

諸國運漕雜物功賃

北陸道若狹國陸路 馱別稻十海路 自勝野津至
 石抄一人水狹抄功四人漕米五十三斗 越前國陸
 路廿四海路 自比樂湊漕敦賀津船貨石別稻七
 亦一人水手四人漕米五十石加賀能登越中等國
 漕大津船貨石別米二升屋貨石一斗六升自鹽津
 斗水手四斗自大津運京馱貨石別米八升狹抄六
 雜物斤 加賀國陸路廿四能登國陸路八十七海路
 自加嶋津漕敦賀津船貨石別二束六把 越中
 狹抄七十束水手卅束自餘准越前國
 國陸路八十海路 自宜理湊漕敦賀津船貨石別
 東自餘准 越後國陸路百五海路 自蒲原津湊
 越前國 越後國陸路百五海路 自蒲原津湊
 貨石別二束六把狹抄七十五束水手四十
 五束但水手八別漕八石自餘准越前國 佐
 渡國陸路百八海路 自國津漕敦賀津船貨石別
 手五十束自 餘准越前國
 右運漕功賃並依前件其路粮者各准程給上人

日米二舛鹽二夕下人減半

几檢損不堪佃田加賀國損田百日不堪佃田八十
 日越前越中國損田百廿日不堪佃田百日能登國
 損田八十日不堪佃田六十日若狹佐渡國損田六
 十日不堪佃田四十日越後國損田百四十日不堪
 佃田百廿日○凡五位已上位祿給諸國者北陸道
 能登以北給運賃凡佐渡等國島驛子渡海送使各
 給食日稻四把○驛馬直法若狹國上馬三百束中
 馬二百五十束下馬二百束 其傳馬直者各遞減
 五十束自餘國准此
 越前加賀能登越中越後上馬四百束中馬三百五
 十束下馬三百束佐渡上馬二百束中馬一百五十
 束下馬一百二十束○驛馬死損越前加賀越後分
 許損 若狹能登越中佐渡損一分許

第廿八兵部省諸國健兒北陸道三百二十四人若
 狹國三十人越前國一百人加賀國五十人能登國
 五十人越中國五十人越後國一百人佐渡國三十

人

諸國器仗 若狹國 橫刀二口弓十六張 越前

國征箭三十具 箭十六具 箭十六具 能登國 甲一領 弓

七張征箭十越 中國 甲二領 橫刀四口 弓二十具 越

具箭十具 後國 征箭三十具 箭十具 佐渡國 甲一領 橫刀四

口弓十張 征箭十具 諸國 驛馬 北陸道 若狹國 驛馬 彌美濃 飯 越前國

驛馬 松原八匹 鹿 濟羅丹 生朝 傳馬 足羽坂 井

各五 加賀國 驛馬 朝倉 湖津 安宅 比樂 田 傳馬 加賀

郡各能登國 驛馬 撰才 越蘇 越中國 驛馬 坂本 川合

五瀨水 桶布 勢各 傳馬 礪波 射水 婦負 越後國 驛

馬 滄海 八匹 鷄石 名立 水門 佐味 三嶋 多傳馬 頸

古志 郡 佐渡國 驛馬 松崎 三川 雜太

各八匹 各四匹 充傳馬

第廿八兵部省凡越後佐渡等國郡司書生等並聽

帶仗

第廿九刑部省佐渡二千五百為遠流越前三百里為近流

第卅一宮內省諸國所進御贄若狹國 正月中旬料並

料並付 越中國 料付三節雜給 內膳司 越中國 料付大膳職

諸國例貢御贄若狹 毛都久於斯 越前 子 礪海 藻 椎

山 笹子 氷 能登 生 鮭 煎 越後 煎 煎 煎 煎 煎

第卅三大膳式諸國貢進菓子越前國 暑預二擔 暑

預子二 加賀國 煎 甘葛 能登國 煎 甘葛 越中國 一斗 煎 越

後國 一斗 煎 煎

第卅四木工寮諸國所進雜物庸米越前國三百斛

第卅七典藥寮諸國進年料雜藥北陸道若狹國廿

四種人參三斤黃菊荅二兩荻荅四斤桔梗漏蘆杜

四種人參三斤黃菊荅二兩荻荅四斤桔梗漏蘆杜

仲芍藥各二斤 枳實十斤 龍膽白薇各一斤 澤瀉六
 兩 續斷四兩 狗脊十四斤 榛皮廿九斤 玄參一斤 二
 兩 葛荅三兩 梔子二斗 麥門冬 車前子 吳茱萸 蜀
 椒各二斗 桃仁八兩 蔓荊子三兩 黃礬石一斗 ○越
 前國十八種 黃連五十七斤 獨活四斤 牛膝十七斤
 桔梗六斤 白朮五斤 三兩 菖蒲廿六斤 人參十四斤
 僕奈四斤 細辛五斤 大黃廿六斤 舛麻六斤 夜于廿
 斤 黃精十二兩 梔子一斗 六舛 薯蕷二斗 桃仁七舛
 五合 兔絲子四舛 蜀椒二斗 七舛
 加賀國七種 黃連七斤 枳殼 茯苓各一斤 芍藥卅斤
 藍漆十三兩 于地黃四斤 十一兩 薯蕷一斗
 能登國五種 黃連三斤 梔子四斗 薯蕷一斗 桃仁二
 斤 蜀椒三斗
 越中國十五種 白朮白芷各十一斤 藍漆大黃各五
 斤 苦參夜干各十斤 黃耆三斤 梔子五舛 薯蕷二斗
 九舛 桃仁六舛 附子三舛 蜀椒四舛 甘葛煎三舛 獺
 肝二具 熊膽四具 羚羊角四具

越後國七種 細辛 黃蘗各十斤 僕奈二斤 十三兩 茯
 苓三斤 蜀椒八舛 零羊角卅具 ○佐渡國四種 黃
 連十五斤 十兩 藍漆廿五斤 細辛四十八斤 蜀椒三
 舛

第卅九內膳司 旬料若狹國雜魚上下旬各七樽 司
 取課了百十人以其調 ○節料若狹國十樽 各
 物交易 鮮物 僑丁 運進

第卅九內膳司 年料 若狹國 生鮭三擔 十三隻 三
 度 碑海藻二籠 十 越前國 碑海藻二擔 十籠 々
 二斤 毛都久於巳 別一斗 又二棒 別籠 一

斗 生鮭三擔 十二隻 三度 山藪 能登國 碑海藻 一
 一斗 五升 三度 鮭兒 氷頭 背腸 越後國 楚割鮭 八籠 八
 越中國 碑海藻 一與 五籠 越後國 楚割鮭 八籠 八

背腸 各四麻 佐渡國 擔十二籠
 筍別一斗 凡貢進御厨 御贄結番者 若狹國 亥 申

第四十八左右馬寮 庄田 越前國 少名庄 三十五町
 八段 二百九十六步 町 十 左右馬寮 每年 依件 營種
 自餘 皆收地子 以充 秣料 及雜用

越前國桑岡尾箕兩庄三十五町八段二百九十六步加八左右馬寮竝准上條

第五十雜式凡越前國松原客館令氣比神宮司檢校

但州氣比神社

右所載延喜式但馬國城崎郡氣比神社神職林氏某曰當國城崎氣比村正一位氣比太明神和銅二年九月六日奉崇祀依之每歲九月六日祭禮也云

太政官符

類聚三代格卷第十二曰 太政官符 禁斷貯錢事

右被右大臣宣偁奉勅用錢之道取於輕使有無均利彼此得宜者亦如聞外國吏民多有貯蓄京畿士

庶還乏資用既畢均利之義亦失得宜之道宜下嚴制不得更然所有之錢盡皆納言仍用正稅准價給之送京之功亦用正稅如有藏而不進爲他被告不論蔭贖科違勅罪五分其物一分給告者四分沒官但伊賀近江若狹丹波紀伊等國不禁限 延曆十七年九月廿三日

類聚三代格第一曰 太政官符 延 應收納神

庫宛用祭料氣比神宮封租穀事

右得神祇官解彼神宮司大中臣安根解偁檢案内太政官去延曆十二年二月廿七日下午越前國府偁官司大中臣魚取解偁封租穀須勘納神庫宛用祭料而國更徵納官庫宛用他色臨彼祭時不肯下行度度祭事由其闕怠望請勘納神庫宛用祭料謹請官裁者右大臣宣依請國依府旨行來既尙矣而去弘仁元年介橋朝臣永繼與宮司有意相爭專任國行自今以後積習爲例宛用遠郡運送之間始祭期神

事疎略大概在過茲貢神之物豈可如此望請徵納
神庫以省申請之煩者官檢案内件租穀專盡神用
不宛他色然則納於官庫還無益納於神庫尤有
便宜望請重仰國宰據准舊例徵納神庫以宛祭料
謹請官裁共行之 元慶八年九月八日

太政官符 一延 應停止分神封鄉寄神宮寺事

右得神祇官解僞坐越前國正一位勳一等氣比太
神宮司中臣一本大清貞解僞檢舊例太政官去齊
衡三年四月十七日下國府僞寺別當與神宮司共
可勘知封物出納者自余以降相共勘知先納神宮
後分寺家是官司之處分非國宰之所行而國去九
月二日送神宮寺移云依別當僧平鎮牒狀分足羽
郡野田村封鄉爲神宮寺料者官錄無例之狀副郡
司彌宜祝等申文再三移送而會無封移又未改行
因茲平鎮等入接封鄉徵妨調物供神之物先爲僧
侶之食役社之輩還僞寺家之人國宰所行官司難

制望請官裁被停分鄉但官司依例惣納封物供神
之後隨色頒行者中納言兼右近衛大將從三位行
春宮大夫藤原朝臣時平宣奉勅依請 寬平五
年十二月廿九日

太政官符 一貞 應奉祈年月次新嘗等祭幣事

右得神祇官解僞檢案内武藏下總安房常陸若狹
丹後播磨安藝紀伊阿波等國神社幣須依格祝部
受取供祭而頃年緩怠會不勞受徒積庫底無由走
奉斯固程途遼遠往還難澁之所致也望請差使令
奉謹請官裁者右大臣宣奉勅依請但自今以後宜
附實調大帳等使送之仍須官長齊敬躬奉不得疎
略 齊衡二年五月廿一日

太政官符 貞一神 應國內諸神不論有位無位

叙正六位上事

右太政官去年十二月廿八日下五畿內七道諸國

府僞右大臣宣奉勅時有所思天下大小諸神或本預官社或未載公簿有位更增一階無位新叙六位唯大社並名神雖云無位奉授從五位下者而今推量六位之中其階有四至奉行必應有疑宜除奉授五位之外不論有位無位共叙正六位上嘉祥四年正月廿七日

第三太政官符 道佛 應納國府國分二寺僧尼度

緣戒條事

右得佐渡國解僞被治部省去承和十年六月十四日府僞被太政官今月四日府僞檢案內太政官去弘仁四年二月三日下同省僞右大臣宣奉勅僧尼有身死並還俗其度緣戒條早令進省省即季終申官毀庶令野人屏跡法流自澄者而今諸國請補僧尼死闕之日不進度緣是猶所司疎略所致也今被大納言正三位兼行右近衛大將民部卿陸奥出羽按察使藤原朝臣良房宣僞補國分二寺僧尼之闕先

進度緣然後補之若乖此旨科違勅罪者今國司等加覆審僧尼度緣或隨身遊行他國或挾奸僞紛失因死已之後無由披求坐請準國司任府續收國庫其身死補替之日隨即將進官謹請官裁者同宜依請諸國亦宜準此 承和十一年十一月十五日

太政官符 道佛 應置十一箇國讀師事

- 山城國 攝津國 伊賀國 參河國 伊豆
- 國 若狹國 加賀國 能登國 越中國
- 丹後國 淡路國

右得僧網條僞謹案齊衡二年八月廿三日格僞頃年之例立五階三階全補講讀師是協格意量才委任凡厥諸國置講讀師者將令邦家照於戒殊之光天下諸於禪定之化非智非行如此道何宜自今以後緣件階業俾申補任者而今至件等國只補講師不倭讀師每修御願以國分僧爲之讀師件僧等既無階業安有智行又立用施供不異正職加以七大

寺外如來立義明業者其數不少階業之人八宗是多補任之國七道數少或年及七十僅講師或筭至八十被補講師遂衰老之身已於中路耆年之眼暗於說經望被補任件等國講師以修御願然則講讀之任自協格制修學之輩莫愁身謹請官裁右大臣宣奉勅除和泉志摩飛彈隱岐之外依請 延喜三年六月廿日

第五 太政官謹奏 分量 諸國 割越前國江沼加賀

二郡爲加賀國事 國中

守一人 掾一人 大目一人 少目一人 史生三人 博士一人 醫一人

右得彼國守從四位下紀朝臣末成等解解加賀郡逃去國府往還不便 云云 全文見日本後紀仍略之 臣等高量所

申令宜伏聽天裁謹以申聞謹奏聞 弘仁十四年二月三日

太政官府 加賀國定上國事

右太政官去弘仁十四年三月一日下式部省府備依太政官去二月三日論奏 云云 全文見日本後紀仍略之 被

右大臣冬嗣宣稱勅宜改爲國 天長二年正月十日

太政官謹奏 弘格

佐渡國令量掾一員 隱岐國令量掾一員

右件兩國僻在邊跡官員乏少居上之人若有事故者則典代之掌卯求之道理良不穩便伏乞更量件員以備職務謹錄事伏聽天裁謹以申聞謹奏聞

大同四年二月十九日

太政官謹奏 貞式 量加諸國介掾事

甲斐國 周防國

右 上國今量介

能登國 丹後國 石見國 長門國 土佐

國 日向國

右中國今置介

飛彈國

右下國今量掾

以前謹案令條上國有介中國無介下國無掾令件

等國或前爲上國未備介職或國務稍繁官員猶少

或長官有故主典執予論之政途事非穩便伏請甲

斐周防新備介職自餘中國同量介下國又量掾以

適變通但至于安房若狹佐渡大隅薩摩志摩等國

雖有中下之名不足備介掾職仍不入此例臣等商

量具件如前伏聽天裁謹以申聞謹奏 貞觀七

年三月十九日

太政官符 應補五畿內並志摩伊豆飛彈佐渡隱

岐淡路等國博士醫師事

右被右近衛大將從三位兼守大納言行民部卿清

原真人夏野宣備奉勅大學典藥生等年廿一以上
不耐遂業者自今以後課試自讀補上件十一箇國
博士醫師庶_シ_ク垂惟之操慰穿壁之勞但卅歲以下
不在此限 天長七年十一月十五日

太政官符 格延 應停史生一員置弩師事

右得越前國解備此國西帶大海遠向異方戎器之

具不可暫_ニ緩_ニ望請被給弩師備之不虞謹請官裁

者大納言正三位兼行左近衛大將皇太子傳陸奧

出羽按察使源朝臣能有宣奉勅依請 寬平七

年七月廿日

太政官符 應停史生一員置弩師事

右得能登國解備此國獨出北海東西不隣若有非

常誰備防禦望請准越後佐渡等國被置件職者大

納言正三位兼行左近衛大將皇太子傳陸奧出羽

按察使源朝臣能有宣奉勅依請 寬平六年八

月廿一日

太政官符 應省史生一員置弩師事

右得越中國解僞此國有弩無師不習機發若有不
虞卒爾何爲望請省史生員置弩師者大納言正三
位兼行左近衛大將皇太子傳民部卿陸奥出羽按
察使源朝臣能有宜奉勅依請 寬平七年十二
月九日

太政官符 應省史生一員置弩師事

右得越後國解僞此國東有夷狄之羌北伺海外之
賊防敵之兵弩是爲勝望請省史生員永置件師教
習其道以備不虞謹請官裁者從二位行大納言兼
左近衛大將源朝臣多宜奉勅依請 元慶四年
八月十三日

第五 太政官符 應置弩師一員事

右得佐渡國解僞此國本夷狄之地人心強暴動忘
禮義常歎斂傷望請准出雲隱岐等國置弩師一員
謹請官裁者正三位行中納言兼民部卿藤原朝臣
冬緒宜奉勅依請 元慶四年八月七日

太政官符 應調庸末進代沒非業博士醫師公麻
事

右得若狹國解僞太政官去齊衡二年五月十九日
下諸國府僞當年調庸來年不究明年三月卅日以
前主計寮具錄未進數移主稅寮准未進之數沒國
司史生以上公麻者謹案府旨只爲史生以上立制
博士醫師不入沒例謹案太政官去貞觀四年三月
廿日下諸國府僞件色准史生責解由者然則雜役
已同史生公麻何得全給望請除授業疎道人之外
同沒公麻謹請官裁者右大臣宜奉勅依請 貞
觀六年十一月十四日

第八 太政官符 近江國穀一十萬五千斛
應運進一十萬斛 駄賃料五千斛別五萬正 常
賃一萬斛正別今加五千斛三斗

右太政官今月十四日論奏、傳臣聞洪範八政以食
爲首、帶甲百萬無粟、非守故先王制政務充倉廩、往
哲垂規、期手足食、然則儲積者治國之要、安民之急
務也、預無儲備、恐致闕乏、謹檢去天平神護二年二
月廿日勅書、傳夫蓄貯者爲國之本、宜運近江國近
郡五萬斛貯納於松原倉者、伏望准據舊例、運件國
緣江諸郡穀收、穀倉院續即運送、越前國物填其代、
但運賃者並給正稅給法者、加增常例以勸民力、謹言此謂松
等管見所及商量如件者、盡聞既訖、原倉者敦賀
郡松原也 弘仁十三年三月廿八日

太政官符 正稅稻四萬束

越前國二萬束 加賀國二萬束

右得兩國解傳支度修理破損官舍料物既超十萬

束、依格前司輸料後司可修而會、去年十一月廿四
日恩詔、悉從免除、望請前件正稅宜宛修造、其用帳
者、副作者帳言上、謹請官裁者、右大臣宜奉勅、宜依
請、但其代出舉正稅令填、又自是以後、若有申請修
理稻者、亦宜准此出舉令填 弘仁十四年五月
三日

貞觀四年官符曰、民部省式曰、諸國春米運京者、若
狹越前四月卅日以前云

太政官符 應禁止諸院諸宮諸司諸家使等、之履
往還船車人馬事

右得上總越後等國解傳得諸郡調網郡司並雜掌
綱丁等解、備進上調物以駄爲本、運漕官米以船爲

宗而上道之日、前件諸院等使給黨路道追妨、率
類津邊覆奪運船、於是有心、遂馬無顧、彼荷官物、致

缺失之煩、綱領陷送留之責、加之部內百姓、差預
綱領之日、若此濫惡、トクシス竄他境、國之弊亡、莫過斯望

請下知路次、諸國永休民愁、謹請官裁者、大納言正三位兼行左近衛大將皇太子傳陸奥出羽按察使源朝臣能有宜如此之事、格別先立會無懲肅責在國宰宜下知尾張參河遠江駿河近江美濃越前加賀能登伴等國々時施特嚴制一切禁斷、若有強雇者准之強盜科罪其身者、諸國承知條示路頭津邊莫令重然。寬平六年七月廿六日

右類聚三代格所得求第一第三第五第七第八第十二稍六卷但第七卷中無北陸道記錄仍不標出矣、尙前後卷冊重尋覺而可標出謹言

萬葉集 曰

飼飯海乃庭好有之、刈薦乃亂出所見、海人鈎船

柿本朝臣人麿羈旅歌

鹽津山打越去者我乘有馬會瓜突家戀良霜

笠朝臣金村

角鹿津乘船時笠朝臣金村作謔一首並短歌

越海之角鹿乃濱從大船爾眞梶貫下勇魚取海路爾出而阿倍寸管我携行者大夫乃手結我浦爾海末通女鹽燒煙草枕客之有者獨爲而見知師無美綿津海乃手二卷四而有珠手次懸而之努櫛日本嶋根乎

反歌

越海乃手結之浦矣客爲而見者乏見日本思櫃

石上大夫歌一首

大船二眞梶繁貫大王之御命恐磯廻爲鴨

右今案石上朝臣乙麻呂任越前國守蓋此大夫

歎註書曰越前國於二氣比浦一歌也

天平勝審二年有越前判官大伴宿禰池主又大掾

云

詠黃葉

八田乃野之淺茅色付有乳山峯之沫雪寒零良之

柿本朝臣人麻呂之歌集出

飼飯乃浦爾依流白浪敷布二妹之容儀者所念香

毛

第十七 赴參氣比太神宮行海邊之時作歌一首
之乎路可良多太古要久禮婆波久比能海安佐奈
藝思多理船梶母我毛

大伴宿禰家持

可敝流末能美知由可牟日波伊都波多野佐加爾
蘇泥布禮和禮乎事於毛波婆
歸山五幡坂
有敦賀郡也

大伴宿禰家持

云云人者雖云若狹道乃後瀨山之後毛將念君
後瀨山後毛將相常念社可死物乎至今日毛生有

大伴坂上大嬢

若狹在三方之海之濱清美伊往變良比見跡不飽
可聞
大伴宿禰家持

右三首若狹國歌

柿本朝臣人麻呂歌曰氣比乃宇美能又曰可里許

毛能美太禮氏出見由安麻能都里船

大伴宿禰家持以天平十八年閏七月被任越中國

守云

伊美都河泊伊由伎米具禮流多麻久之氣布多我
美山者波流波奈乃佐氣流左加利爾安吉乃葉乃
爾保弊流等伎爾出立底布里佐氣見禮婆可牟加
良夜會許婆多敷刀伎夜麻可良夜見我保之加良

武須賣加未能須蘇未乃夜麻能之夫多爾能佐吉

乃安里蘇爾阿佐奈藝爾餘須流之良奈美由敷奈
藝爾美知久流之保能伊夜麻之爾多由流許登奈

久伊爾之弊由伊麻乃乎都豆爾可久之許曾見流

比登其等爾加氣底之努波米
多麻久之氣敷多我美也麻爾鳴鳥能許惠乃孤悲

思登岐波伎爾家里
同家持

右二上山
布勢能宇良乎由吉底之見豆波毛母之綺能於保

美夜比等爾可多利都藝底牟

布布勢海歌

多知夜麻爾布里於家流由伎能等許奈都爾氣受

底和多流波可無奈我良等會

右立山歌

大伴宿禰池主

東風越俗語東風謂之伊多久布久良之奈吳乃

安麻能都利須流乎夫禰許藝可久流見由

乎加未河泊久禮奈爲爾保布乎等賣良之葦附松

類等流登湍爾多々須良之

家持

宇佐可河波和多流瀨於保美許乃安我馬乃安我

积乃美豆爾伎奴々禮爾家里

賣比河波能波夜伎瀨其等爾可々里佐之夜蘇登

毛乃乎波宇加波多知家里

珠洲能宇美爾安佐比良伎之底許藝久禮婆奈我

波麻能宇良爾都奇底理爾家里

大伴家持

右射水川二上山立山布勢海奈吳浦雄神川鶴坂

河婦負河各有于越中珠洲海有于能登也二國共

有詠歌數首略之

伊夜彦於能禮神佐備青雲乃田名引日良深曾保

一云安奈爾可武佐備

伊夜彦乃神乃布本今日良毛加鹿乃伏良武皮服
著而角附奈我良

右越後國彌彦山之歌

第十 六月ノツキハ割テ而昭日爾毛吾袖將乾哉於

君不相四手

乾坤之初時從天漢射向居而一年丹兩遍不遭妻

戀爾云 七月七日之夕者吾毛悲鳥

九月乃鏡禮乃爾沽通春日之山者色付丹來

第八 十月鏡禮爾相有黃葉乃吹者將落風之隨

十二月爾者沫雪零跡不知可母梅花開舍不有

第三 五月之多田波思家武登吾思皇子命者

春遊者殖槻於之遠人待之云

八重疊平群乃山兩四月與五月間爾藥獵云

第十二 十五日出之月乃高々爾君乎座而何物

乎加將念

右數首者年中每祭祠之月日古點訓儀爲參考謄寫

之 二月キサ 三月ヤヲ 八月 十一月ツシモ

續日本紀少納言正月王ムツキノキミ 二月三月八月十一月

之古點不見萬葉

舊事記國造本紀曰

若狹國造

遠飛鳥朝トクキヤスノミカド允カシヘテフシノ御代膳カシヘテフシノ臣祖佐白米命兒荒礪定賜國造

國造

高志國コシノ造ミツコ在越後國古志郡

志賀高穴穗朝務御代阿閉臣祖屋主田心命三世

孫市入命定賜國造

三國在越前國々造三國

志賀高穴穗朝御代宗我臣フトヲシマヤコト祖彦太忍信命四世孫

若長足尼定賜國造

角鹿國造

志賀高穴穗朝御代吉備臣祖若武彦命孫建功狹

日命定賜國造

賀我國造

泊瀨朝倉朝略御代三尾君祖石イソツツ撞別命四世孫大

兄彦君定賜國造難波朝孝御代ツツ越前國嵯峨朝

御世弘仁十四年割越前國分爲加賀國

加賀國造

難波高津朝仁御世能登國造同祖素都乃奈美留

命定賜國造

江沼國造在加

柴垣朝正御世蘇我臣同祖武内宿禰四世孫志波

勝足臣定賜國造

能等國造

志賀高穴穗朝御世活イグメ目帝皇子大入來命孫彦狹

嶋命定賜國造

羽咋國造在能

泊瀨朝倉朝御世三尾君祖石イヘキ權別命兒石城別王

定賜國造

伊禰頭國造在越

志賀高穴穗朝御世宗我同祖建内足巨孫大河音

足巨定賜國造

久比岐國造在越後

瑞籬朝神崇御世大和直同祖御戈命定賜國造

高志深江國造

瑞籬朝御世道君同祖素都乃奈美留命定賜國造

佐渡國造

志賀高穴穗朝阿岐國造同祖久志伊麻命四世孫

大荒木直定賜國造

和名類聚鈔目

若狹和加越前古之乃久知三加賀弘仁十四年割

能登靈龜二年割越中古之乃久知三越後古之乃久知三

利之佐渡

若狹國府在遠敷郡行管三田三千七百七町

公各九萬東雜類四萬東二遠敷乎爾大飯於保三方加美

越前國府在丹生郡行管六田二萬二千六十

萬東本稻百二萬八千敦賀都留丹生爾今立伊萬

東雜稻二十萬八千東我丹生爾今立伊萬

足羽安須大野乃於保坂井乃佐加

加賀國府有能美郡行程上十八日下九日弘

管四田萬三千七百六十六町七段三百三十四

雜稻八萬江沼能美國加賀石川伊波

能登國日養老二年割越中國四郡置此國管四

田八千二百五十八段一百卅羽咋波久能登國

鳳至志不布珠洲須

越中國府在射水郡行程管四田萬五千九百

步正公各三十萬東本稻八十四萬四百三十三把彌

波止奈射水伊三婦負彌新川爾布

越後國府在頭城郡行程上管七田九萬四千九

八十三萬三千四百四十五東雜稻四十五萬三千

四百四頸城古志三嶋美之魚沼乃乎蒲原加

波沼垂利太石船伊波

佐渡國 國府在雜太郡行程上 管三田三十町四九百

正三萬八千四百八十八萬三千五百五十五 羽茂雜太

萬千五百八千雜公八萬三千五百五十五 羽茂雜太

佐波太賀茂

國府賀茂

若狹國

遠敷郡 遠敷 布爾丹生爾玉置餘戶安賀加野里

神戶丹生志摩佐文木津阿桑

大飯郡 大飯佐分木津阿桑

三方郡 能登禰美飯戶三方驛家

越前國

敦賀郡 神戶與祥津守郡毛伊部從省鹿蒜留加倍

丹生郡 加茂野田太乃丹生國本加乎泉從省無之土可

知朝津布阿佐三太

今立郡 芹川加波里大屋酒井井佐加味眞末阿知勝戶

勝部中山船津布奈會博會波

足羽郡 安味安額田太奴加足羽安須草原波久佐少

屋加美資母出水大山於保

坂井郡 粟田多安波荒泊高向多加磯部長畝奈宇

高屋多加坪江江保福留布久海部無倍萬川口久知

堀江保里餘戶

加賀國

江沼郡 忘浪山背也萬竹原多加額田奴加郡家

三枝久佐伊菅浪奈美加長江奈加八田多

能美郡 輕海美加留野身乃山上加美山下之多萬得

橋宇波

石川郡 中村無奈加富椋加之椋部三馬拜師之波也

井手井笠間加佐味知美加桑久波大野於保芹田

世利井家以倍乃

加賀郡 英太多江玉戈多萬驛家田上多加

能登國

羽咋郡 大海於保高家多加羽咋波久岡本都荒

木岐阿良神戶

能登郡 上日阿佐下日越荒惠八田太加島萬加之

與木岐熊來久萬長濱奈加神戶

鳳至郡 櫛久之之小屋待野萬知餘戶

珠洲郡 日置比草見若倭大足餘戶

越中國

礪波郡 川上加波美八田川合加波案比拜師波也長岡

奈加大岡於保乎加高楊多牧加陽知三野乃美意悲大野於保

乃小野乎

射水郡 阿努字納字奈古江布留布西三島美之

伴布師乃奴之川口櫛田久之塞口

婦負郡 高野多加小子知比古大山於保菅田須加

日理川合大乘高島岡本乎止餘戶

新川郡 長谷志麻之石勢伊波大荊於保大部車

持鳥取布留佐味左川カ枯

越後國

頸城郡 沼川奴末都宇栗原久里良原木阿良板倉

以多高津都加物部五公美以木夷守毛里佐味佐美

三島郡 三島美之高家也多加多岐

魚沼郡 賀禰那珂珂刺上千屋知也

古志郡 大家栗家文原夜麻

蒲原郡加牟日置比於櫻井佐久勇禮以久青海

安乎小伏

磐船郡 佐伯山家利波坂井餘戶

沼垂郡 足羽安須沼垂利奴多賀地加

佐渡國

羽茂郡 越太大目女於保駄太菅生須加八桑也久

松前萬都星越保之高家倍多水湊美奈

雜太郡 岡石田與知家高多介八多竹田小野雜

田佐波

賀茂郡 舛栗賀茂動知大野佐爲

古事記品陶和氣命一時天皇越幸近淡國云故

到坐木幡村之時麗美孃子遇其道衢余天皇問其

孃子曰汝者誰子答白丸邇之比布禮能意富美之

女名宮主矢阿枝比賣天皇即詔其孃子吾明日還

幸之時入坐汝家故矢阿枝比賣委曲語其父於是